

①新地区補助金、②グローバル補助金の2つに分けることになります。

①地区補助金は、これまでの高齢者や障がい者を人道的支援プロジェクトのほかに、少年スポーツ大会や絵画展などの教育的プロジェクトも使用できるようにします。また、ロータリーのない国、地域にも使用が可能になり、使途の制約がほとんどなくなります。もう一方の②グローバル補助金は、6つの重点分野に限定し使用することになります。6つの重点項目とは、平和と紛争予防、疾病予防や治療、水と衛生設備、母子の健康、基本的教育の向上、経済と地域社会の発展です。

米山記念奨学委員会 内畑 瑛造 委員長 (代理 松田 弘治 会員)

委員長より活動基本方針・計画を受けた後、小委員会からも同様の説明を受けた。  
 選考小委員会…本年度は指定校13校より800名を選出する。該当者の経済的な審査は行わない。  
 寄付増進小委員会…年間寄付金6,000円であるが、2万円を目標にしている。  
 (当ロータリーは対応済み)

お誕生日お祝い

- 黒田 純一 会員** 今年64歳になりました。もう少し人の役に立てるように頑張ります。
- 松田 弘治 会員** 今年58歳になります。和歌山にどれだけ居られるか分かりませんが、ロータリーに貢献していきたいと思っております。



おめでとうございます!



ありがとうございました

- 内畑 瑛造さん 地区協議会欠席のため松田さんに代理出席して頂きました。
  - 岸裏 廣澄さん クラブフォーラム担当の皆様ご苦労様です。
  - 櫻畑 友洋さん いよいよ夏本番ですね。暑中お見舞い申し上げます。
  - 後 亮さん ご無沙汰しています。忙し過ぎます…。今年の12月から、弁護士3名態勢になる予定ですが、12月まで、期間が長過ぎます。
  - 島 公造さん 本日、紀三井寺球場へ玉置さんの激励に行ってきました。
  - 島 公造さん 家内にきれいな花をありがとうございました。
  - 山本 進三さん 本日のクラブフォーラム、3ヶ月以上前の話ですが、よろしくお祈りします。
  - 乾 敦雄さん 本日もよろしくお祈りします。
- 阪神タイガース応援団一同

【お誕生日お祝い】

- 黒田 純一さん お誕生日祝いをいただいて。
- 松田 弘治さん 喜べる年令でしょうか? お祝いしていただけるのはロータリーだけです。ありがとうございます。

本日の累計 43,000円(計9名 11件) (お誕生日お祝い 25,000円 皆出席表彰 10,000円 その他 275,500円 累計額 310,500円)

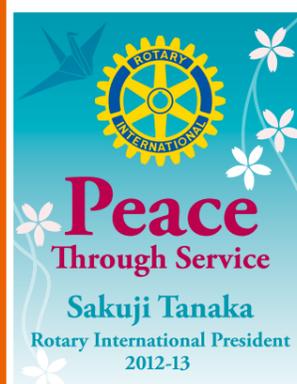
本日の例会 7月26日(木) 前回の例会 7月19日(木)

- 卓話「老化について」  
当クラブ名誉会員 駒井 則彦さん
- ピアノ演奏 中井 利枝さん  
MOONLIGHT BECOMES YOU (J.V.Heusen)  
MY OLD FLAME (A.Johnston & S.Coslow)

- クラブフォーラム「地区協議会の報告」
- ロータリーソング 山東 勝彦 ソング委員長  
「和歌山東ロータリーの歌」

次回の例会 8月2日(木) メイキャップ情報 (敬称略)

- 卓話  
ガバナー補佐(岸和田東R.C.) 雪本 孝治さん
- 7月14日(土) 地区委員会 松田 洪毅
- 7月18日(水) 和歌山西R.C. 松田 弘治
- 7月20日(金) 和歌山南R.C. 山東 勝彦



「確信と絆で作ろう、希望の未来へ!! 今日より一歩」

「奉仕を通じて平和を」

国際ロータリー 第2640地区 **和歌山東ロータリークラブ**  
 URL <http://www.werc.jp> E-mail [info@werc.jp](mailto:info@werc.jp)

2012年7月26日(木)  
 週報 / VOL.54 No.4 (通巻2550)

会長報告 島 公造 会長



皆さん今日は、梅雨が上がり一気に夏になりました。私は忙しい日々を送っています。去年の大地震・大津波・原子力発電所の爆発「想定外」と言う言葉が頻りに飛んでいますが、先週の大大分、熊本の豪雨これも凄いことでやっぱり「想定外」です。一日の総雨量500ミリ・ちなみに日本の梅雨時季での総雨量だいたい250ミリ位らしいので、いかに沢山降ったか分かります。被害者は東北の震災被害者と同じです。会長職を仰せつかっている今、すぐよぎったのは不謹慎か分からないが「義援金いるのかな」でした。この調子だと日本国内、我々の町も想定外がきても仕方がないと感じている次第です。  
 それと今期初のIDM、皆さんこぞって楽しいIDMにしていきたいと思います。以上です。

幹事報告 山本 進三 幹事



当クラブのポケット版会員名簿作成に当たり、記載内容確認のお願いです。  
 変更あり、なしにかかわらず、名前をご記入のうえ事務局までFAXまたはご提出下さい。  
 下記の広報誌・案内が届いておりますので回覧します。  
 ・一般財団法人比国育英会パギオ基金より、パギオだより2012年7月号 Vol.31  
 ・和歌山北ロータリークラブ週報  
 ・垂水の集い事務局より、独立総合研究所青山繁晴氏講演会のご案内

紀の川一斉清掃 社会奉仕・環境資源委員会 吉田 篤生 委員長

7月22日、毎年恒例の紀の川河川敷清掃に参加してきました。前日、就寝前に雨が降っていた時はハラハラしましたが、朝起きると快晴で無事河川敷の清掃を行うことが出来ました。当日は14名のメンバーに加え、ご家族も大勢来て頂きまして総勢23名での清掃活動となりました。朝早いうちから集まっていた頂き、皆さんどうもありがとうございました。最近ゴミも減り清掃は楽になってきましたが、この良い状態が継続していけるよう来年も今年以上の参加よろしくお祈りいたします。



当日の参加者 (メンバー14名+家族9名 計23名)  
 赤井 雅哉、乾 敦雄&理代、侑樹 佳織、後 亮、櫻畑 友洋、角谷 芳伸、亀田 直紀、笹島 良雄&錦子、島 公造、瀧川 嘉彦&愛日里、結喜 晶衣、田原 久一、谷口 文利、八幡 建二、山本 進三、吉田 篤生&悠馬、愛 (敬称略)



出席報告		会員数 44名(内出席規定適用免除会員16名)		山東 勝彦 出席委員長	
7月19日(本 日)	32名	88.9%	7月5日(メーキャップ後)	33名	89.2%
				欠席者4名	

皆さん、出席してください。

## 地区協議会の報告

### I-会長部門 島 公造 会長

まず私達のクラブは十一名全員出席、あたりまえの事の様ですが、これだけの役員の人達がそろうのはすごい、これが「我が伝統ある和歌山東クラブ」だと感じました。

#### 協議会の内容

- \*まず全体会議では今期のガバナー初め、ガバナー補佐の紹介挨拶。ちなみに私達 I M 3 組にはガバナー補佐は有りません、持ち回りで、どなたかが補佐をしてくださるとの事でした。
- \*日本人で三人目の R I 会長田中作治氏の抱負。「奉仕を通じて平和を」の説明。
- \*本年度地区行事の予定。又部門別では地区代表幹事上田俊夫さんの話と北中ガバナーの長い話でしたが、ほとんどが地区での二年間の話でした。とにかく「心機一転・新たな気持ちでスタートしましょう」とのお話でした。

### I-幹事部門 山本 進三 幹事

2640地区 2012-2013年度地区協議会 幹事部門協議会では、主にクラブ運営の心得についてお話がありました。特にクラブをまとめるため、役員が協力不可欠であること、またクラブの運営に関する資料を充実させ、大ざっぱな運営ではなく、メリハリを付けた運営を心がけることなど、当たり前のことであるが欠かせない事柄についてご指導を受けました。ありがとうございました。

### I-ロータリー情報・規定委員会 谷口 文利 副委員長

ただいま、定款・細則の作成に取り組んでおります。

### I-社会奉仕委員会 吉田 篤生 委員長

#### 【活動基本方針】

社会奉仕活動は、その地域に於いて各クラブが主体で行われるべきであり、地区委員会は、各クラブが取り組む活動を尊重し必要に応じあらゆる支援をおこなう。

活動に役立てて頂けるよう、地区の持つ様々な情報を提供する。

RI長期計画や地区ガバナーの方針に基づく活動を、推奨する。

#### 【活動計画】

- 各クラブ社会奉仕委員会の支援。
- 奉仕活動の応援。・卓話講師の派遣。・情報提供。推奨プログラムの紹介。・各クラブ独自の活動。
- 識字率向上運動。・献血活動推進。・ストップ・エイズ運動。・薬物乱用防止運動。・その他。
- 「ロータリー100年の森林」への取り組み。・償還期限に向けて、対応を検討。

### I-地区社会奉仕委員会 笹島 良雄 顧問

1. 地区協議会での部門別協議会の問題点  
規定時間は70分の中でカウンセラーを含めて各部門説明者8名、充分なる説明等は不可能で、各クラブの出席者にどっては理解出来ぬ会であった。
2. Bridal支援委員会について  
地区組織として新設され、社会奉仕委員会のラインに入っているが、実際の活動は意味不明瞭であり、クラブの規則にも設けない。出来るだけの心がける程度とする。
3. 「ロータリー100年の森林」の継続について  
調定期限が迫って居り、一部中止の意見もあり驚いている。設立の意義やいきさつを勘案し、なんとしてでも継続の努力をする。
4. 2640地区クラブ社会奉仕委員長会議の開催  
地区協議会の討議不十分を補う意味を含めて、8月19日(日)於ルミエール華月殿で開催します。当クラブでも何かと御助力をお願いします。2640地区全般の雪解けの為に、今回和歌山で開く事は意味があります。

### I-会員増強委員会 瀧川 嘉彦 委員長

2011-2012年度は当地区では39名の純増となりました。2012-2013年度においてはR.I.では毎年3%の会員純増という方針が打ち出されました。今年度の活動計画は次のようになっています。

#### 【活動計画】

- ・R.I.会長賞に「会員2名の純増」が掲げられております。これを目標として11-12年度に引き続き各クラブ1-2名の純増を達成して頂くようお願いします。
- ・女性並びに若い世代に門戸を開き、ロータリーに新しい風を。
- ・定年後ボランティア活動をされている方をロータリークラブへ勧誘。
- ・昨年度の入会者から新たな入会者を紹介して頂く。
- ・将来を見据え、新世代奉仕に繋がるよう、学校関係者を勧誘。

### I-雑誌委員会 角谷 芳伸 委員長

#### 【活動基本方針】

より一層地区内クラブ活動の雑誌広報委員会の活性化をサポート。

#### 【活動計画】

- ①地区情報の活性化。
- ②広報 マスメディアとの連携。依頼と懇談会や委員長会議を開催し、地区内での各奉仕プログラムのPRや記念行事などの広報案内。
- ③R.I. 広報補助とロータリーの記念日。2月23日の創立記念日に広報活動を行う。
- ④ソーシャルネットワークのロータリアン親睦グループ。新しい取組としてSNSやFacebookページの活用の検討。

### I-職業奉仕委員会 亀田 直紀 委員長

奉仕部門総合での説明だったので、個別委員会の持ち時間が非常に短く、詳しい説明を聞くことが出来なかったが、当日、配布された資料を通読すると、ガバナーの職業奉仕に関する考え方が、良く理解できた。そこには、以前、私が職業奉仕委員長を担当した節に、クラブフォーラムで発表した内容とほぼ同じ事が書かれており、自分の方向性に間違いはないとの自信を深め、会場を離れた。

### I-新世代委員会 赤井 雅哉 委員長

新世代委員会としては、インターアクト、ローターアクト、青少年交換、青少年・ライラとして話がありましたが、特に中心は青少年交換と青少年・ライラとなっていました。

#### 〈青少年交換委員会〉

#### 【活動基本方針】

青少年交換は、高校生に、長期交換では1年間の留学の機会を与えます。短期交換では、数週間の外国訪問の機会を与えます。

#### 【活動計画】

2012-2013年度は、8名の交換を行います。

#### 〈青少年・ライラ委員会〉

#### 【活動基本方針】

- ①R I テーマ「奉仕を通じて平和を」に基づき、新世代（12歳～30歳）の青少年に、平和フォーラム等を通じて日常生活の中で「平和」を基礎として、奉仕活動を推進して行く。
- ②新世代プログラム間での地区各委員会の情報交換を推進して行く。（IAC・RAC・青少年交換・ライラ）
- ③青少年に関わる地区各委員会の情報交換を推進して行く。（米山奨学生・財団学友会・RCC・ROTEX等）
- ④地区青少年・ライラ委員会の更なる充実強化を推進して行く。
- ⑤各クラブのロータリアンは常日頃、青少年とより深く関わりを持ち奉仕活動を推進して行く。
- ⑥各クラブで地域社会に尽くしている青少年を地区・クラブのHP等に掲載し、公に表彰する事を推進して行く。
- ⑦今までにライラ研修に参加された青少年とロータリアンが連携を取り、今後ライラ同窓会を提唱し、次世代ロータリアンとして人間的・社会的成長を支援し、指導者育成に寄与して行く。

#### 【活動計画】

- ①地区青少年・ライラセミナーを11月上旬ぐらいに2泊3日で行う予定。
- ②テーマ「地域社会における平和と社会奉仕について」
- ③対象は研修生（14歳～30歳）約100名及びロータリアン約100名。

### I-国際奉仕委員会 松田 洪毅 委員長

4月15日に開かれました地区協議会は、北中ガバナーの初めての協議会でしたので、全体会議は715名の参加者の発表が有りました。北中ガバナーの熱意が伝わる活気が感じられました。

RIに沿った地区方針が示されました。

- ①ポリオ・プラスへの更なる貢献事業を進める。
- ②国際社会奉仕プロジェクト事業の推進として、姉妹クラブとのジョイント事業の推奨。これをするに当たっての財団資金として（新・地区補助金、グローバル補助金、パッケージグランド）を使用しての事業の推奨
- ③海外への本の寄贈、日本の紹介
- ④ロータリーの友情交換事業
- ⑤国際大会への参加要請2013年6月23日～26日ポルトガル・リスボン

### I-ロータリー財団委員会 野田 真司 副委員長

ロータリー財団については、主に変更点をお伝えさせていただきます。  
未来の夢計画が地域社会のニーズ、途上国を中心とした世界のニーズにも対応できるように、財団の地区活動資金を、